エコアクション２１

環境経営活動レポート

（レポートＮｏ.１３）

初回認証登録 2011 年 7 月

活動年度　　2022 年度

活動期間　　2022 年 5 月～2023 年 4 月

作 成 日　　2023 年 5 月 15 日

有限会社　高田建設

徳島市上八万町星河内４５７番地４
電話　　０８８－６６８－７２７２

(有)高田建設の環境保全への取組　スナヤツメの保護を紹介

徳島市の眉山南側 当社近くを流れる園瀬川流域には絶滅危惧１類（徳島県指定）のスナヤツメが生息し、護岸工事などではスナヤツメを保護するなど環境に配慮した工法が求められている。

スナヤツメは流れの緩やかな浅い清流に生息し、幼生は泥の中で暮らし、４年後に変態して全長20ｃｍの成魚になり、春から初夏に産卵して一生を終える。脊椎動物の中で最も原始的で古生代の生きた化石と言われている。

スナヤツメの成魚

スナヤツメの移植

園瀬川河川工事では、絶滅危惧種のスナヤツメの個体数減少を極力回避するため、工事に先立ちスナヤツメを採取し下流に移植し放流し、生物多様性の保護に努めている。

（写真は平成２６年１１月の移植）

スナヤツメの採取

採取した20個体

園瀬川工事下流に放流

①　組織の概要

1.　事業所及び代表者

有限会社　高田建設

代表取締役　高田秋治

2.　所在地

事務所　　〒770-8040　徳島市上八万町星河内４５７番地４

資材置場　　〒779-3132　徳島市一宮町東丁２７３番地３

3.　環境管理責任者連絡先

専務取締役　高田佳秀　ＴＥＬ088-668-7272　　ＦＡＸ088-668-7278

Ｅ-mail　yu-takata@shirt.ocn.ne.jp

4.　事業の内容

土木工事業

・　特定建設業の許可

徳島県知事許可(特-03)第2380号

許可業種　　土木工事業、とび･土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、ほ装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、水道設備工事業

5.　事業の規模

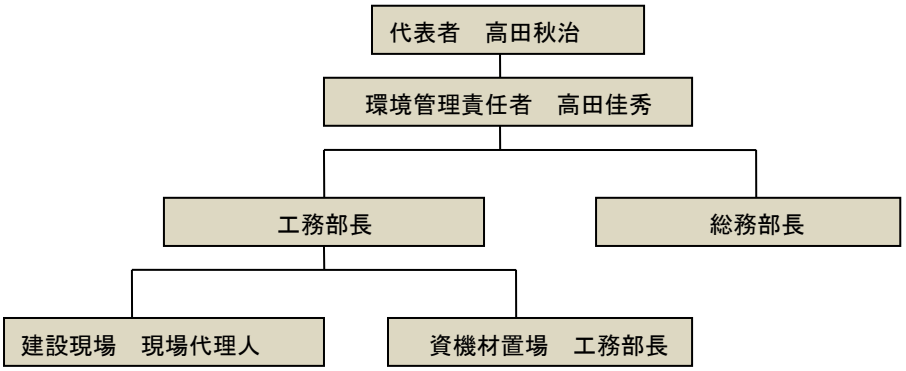
資本金	4300万円
年商	100百万円(2022年度)
従業員	8名　(内ﾊﾟｰﾄ2名)
敷地総面積	871　㎡
事務所床面積	120　㎡
事業期間	5月1日～翌年4月30日
設立	平成2年7月3日

6.　環境関連の法規に関する有資格技術者

一級土木施工管理技士（建設業法）　　３名

二級土木施工管理技士（建設業法）　　３名

７．環境経営システム組織図



８．環境経営システム 役割・責任・権限表

役　職	役割･責任･権限
代表者（社長）	･環境経営システムの実施に必要な人や資源を準備 ･環境管理責任者を任命 ･環境経営方針の策定･見直し及び全従業員へ周知 ･環境経営目標･環境経営計画書･環境経営レポートを承認 ･代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	･環境経営システムの構築、実施、管理 ･環境関連法規等の管理 ･環境経営目標･環境経営計画書を作成。 ･環境活動の取組結果を代表者へ報告 ･環境負荷の自己チェック･環境への取組の自己チェックの実施 ･環境関連法規等取りまとめと遵守評価の実施。 ･環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ･環境経営レポートの作成、公開
部門長	･自部門における環境経営システムの実施 ･自部門における環境経営方針の周知及び教育訓練の実施 ･自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ･緊急事態への対応と防災訓練の実施 ･自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
現場代理人	･施工現場における環境経営方針の周知 ･施工現場の従業員･協力業者に対する教育訓練の実施 ･施工現場に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告
全従業員	･環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ･決められたことを守り、自主的･積極的に環境活動へ参加

②　認証・登録範囲

有限会社高田建設の全組織（事務所・資機材置場及び建設現場）における、全事業活動が対象である。　　（　初回認証登録日　　２０１１年７月２１日　）

③　環境経営方針

高田建設の環境経営方針

＜環境経営理念＞

有限会社高田建設は、社会基盤整備の推進に必要不可欠な道路工事及び河川工事等の建設工事に当たって、地球環境の保全を重要な課題であると認識し、社員一丸となり事業活動のあらゆる面で積極的に環境経営活動に取組んでいきます。

＜環境保全への行動指針＞

1. 次の重点事項について環境経営目標・環境経営計画を定め、継続的な改善に努めます。
   - ①二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）
     - ・電力（事務所）
     - ・自動車燃料（営業車、トラック）
   - ②廃棄物の削減（循環型社会への対応）
     - ・一般廃棄物（可燃ごみ）
     - ・産業廃棄物（コンクリート・アスファリト・木材）
   - ③水使用量の削減（水資源の保全）
     - ・節水への取組
   - ④社会貢献
     - ・環境配慮への取組
     - ・地域での環境活動への積極的な参加
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. 全社員に環境に関しての教育を行い、環境経営の意識を高めます。
4. 環境に配慮した工法・作業を推進します。
5. 環境への取り組みを「環境経営レポート」としてとりまとめ公表します。
6. 当社の環境経営方針は、全ての従業員に周知します。

制定2011年1月1日
改訂2019年5月1日
有限会社　高田建設
代表取締役 高田秋治

④　環境経営目標の設定

対象	項目	環境負荷項目	単位	目標　基準	2022年度目標		2023年度目標		2024年度目標	
事務所	二酸化炭素排出量	電気使用量	kWh	1,597	1,533	-4.0%	1,525	-4.5%	1,517	-5.0%
			Kg-Co2	854	820	〃	816	〃	812	〃
		ガソリン使用量	ﾘｯﾀｰ	2,802	2,690	-4.0%	2,676	-4.5%	2,662	-5.0%
			Kg-Co2	6,501	6,241	〃	6,208	〃	6,176	〃
		軽油使用量	ﾘｯﾀｰ	8,763	8,412	-4.0%	8,369	-4.5%	8,325	-5.0%
			Kg-Co2	22,609	21,703	〃	21,592	〃	21,479	〃
		灯油使用量	ﾘｯﾀｰ	785	754	-4.0%	750	-4.5%	746	-5.0%
			Kg-Co2	1,955	1,877	〃	1,868	〃	1,858	〃
	CO2総排出量		Kg-Co2	31,918	30,641	-4.0%	30,484	-4.5%	30,323	-4.5%
	水使用量		m3	5	4.8	-3.5%	4.8	-3.5%	4.8	-3.5%
	一般廃棄物排出量		Kg	12	12.0	0.0%	12.0	0.0%	12.0	0.0%
建設現場	産業廃棄物排出量	混合廃棄物	トン	0.6	0.6	-3.5%	0.6	-3.5%	0.6	-3.5%
		建設汚泥	トン	0.9	0.9	-3.5%	0.9	-3.5%	0.9	-3.5%
		根株等	トン	—						
		竹・伐採材屑等	トン	23.8	23.0	-3.5%	23.0	-3.5%	23.0	-3.5%
		コンクリート	トン	26.8	25.9	-3.5%	25.9	-3.5%	25.9	-3.5%
		アスファルト・コンクリート	トン	3.7	3.6	-3.5%	3.6	-3.5%	3.6	-3.5%
		リサイクル率	%	99.0%	99.0%	—	99.0%	—	99.0%	—
	公共工事受注		件数		3		3		3	
	環境配慮工法		件数	2.3	6		6		6	
売上高実績（概算）			万円	5000万	—		—		—	
売上百万円当たりCO2量（Kg-CO2）				663	—		—		—	
環境管理責任者指示及び評価				現場では環境配慮工法に配慮すること。						
社長　指示又は評価				全社員がEA21活動に積極的に取組むこと。						

・目標基準は2018年度から見直した。（2015年度～2017年度の平均を基準とした。）
・PRTR制度対象の化学物質は使用していない。
・事務所水使用量は概算を表示から、27年8月よりﾒｰﾀ表示に変更。
・CO2排出係数　電気：0.535Kg-CO2/kWh　ｶﾞｿﾘﾝ：2.32Kg-CO2/L
　軽油：2.58Kg-CO2/L　　灯油：2.49Kg-CO2/L

⑤　環境経営計画

対象	環境方針	取組内容	取組責任者	取組手段（**太字**は重点取組）
事務所	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量削減	環境管理責任者	（1） 冷暖房機の設定温度冷房28度の徹底と使用時間削減 （2） 部屋使用時以外の消灯及び事務機の主電源OFFの徹底
		燃料使用量削減	環境管理責任者	（1） エコドライブの徹底（エコ運転、アイドリングストップ、適正タイア圧、不要荷物対策等） （2） 使用量の把握し、削減教育の実施
	水使用量の削減	水使用量の削減	環境管理責任者	（1） 水道管からの漏水に注意 （2） 節水
	一般廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	環境管理責任者	（1） OA用紙裏面の使用 （2） 一般ゴミの分別化
	公共工事拡大	公共工事受注強化	環境管理責任者	（1） **公共工事受注活動強化**
建設現場	二酸化炭素排出量の削減	燃料使用量削減	工務部長	（1） **エコドライブの徹底**（エコ運転、アイドリングストップ、過負荷防止等） （2） **省エネ重機リース**
	産業廃棄物再資源化の推進	産業廃棄物のリサイクル	工務部長	（1） **混合廃棄物の廃棄先リサイクルの推進**
	環境配慮工法	環境配慮工法の実施	環境管理責任者	（1） 環境配慮工法・作業の検討と実施 （2） 購入資材の削減 （3） **建設業者向けガイドライン（35P）参照** （4） **自然との共生と調和** （5） ICT施工の推進
	環境法規制の順守	建設重機のフロン対策	工務部長	（1） フロンガス点検記録（2台）

⑥　環境活動のスケジュール

NO	実施事項	関連文書	責任者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
1	環境経営目標管理表作成	TK-151	環境管理責任者														
2	環境経営計画作成	TK-152	環境管理責任者														
3	作業環境の整備（整理整頓）		環境管理責任者														
4	教育訓練(社員・幹部・関係者)	TK-100	環境管理責任者														
5	環境改善活動	TK-381	工務部長														
6	緊急事対応策の定期テスト	TK-100	工務部長														
7	地域環境活動（道路の清掃等）参加		工務部長														
8	文書類の見直し・記録の管理	TK-100	環境管理責任者														
9	法規制等内容一覧表の確認	TK-141	環境管理責任者														
10	環境経営レビューの実施	TK-413	環境管理責任者														
11	環境経営レポート作成・公表		環境管理責任者														
12	EA21審査申請		環境管理責任者														

⑦　環境経営目標の実績

対象	項目	環境負荷項目	単位	目標　基準	2022年度目標		年度実績		年度末評価(○良好)	取組責任者
							年度合計	目標比		
事務所	二酸化炭素排出量	電気使用量	kWh	1,597	1,533	-4.0%	1,695	+11%	△目標未達	環境管理責任者
			Kg-Co2	854	820	〃	907			
		ガソリン使用量	ﾘｯﾀｰ	2,802	2,690	-4.0%	2,309	-14%	○目標達成	工務部長
			Kg-Co2	6,501	6,241	〃	5,357			
		軽油使用量	ﾘｯﾀｰ	8,763	8,412	-4.0%	17,324	+106%	△　重機業務増加	工務部長
			Kg-Co2	22,609	21,703	〃	44,696			
		灯油使用量	ﾘｯﾀｰ	785	754	-4.0%	84	-89%	○	工務部長
			Kg-Co2	1,955	1,877	〃	209			
		CO2総排出量	Kg-Co2	31,918	30,641	-4.0%	51,168	+67%	△　重機業務増加	環境管理責任者
	水使用量		m3	5	4.8	-3.5%	12	+150%	△	環境管理責任者
	一般廃棄物排出量		Kg	12	12.0	0.0%	12	±0%	○	環境管理責任者
建設現場	産業廃棄物排出量	混合廃棄物	トン	0.6	0.6	-3.5%	0.06		再資源化	工務部長
		建設汚泥	トン	0.9	0.9	-3.5%			再資源化	工務部長
		根株等	トン	—			7.32		再資源化	工務部長
		竹・伐採材屑等	トン	23.8	23.0	-3.5%	14.02		再資源化	工務部長
		コンクリート	トン	26.8	25.9	-3.5%	120.36		再資源化	工務部長
		アスファルト・コンクリート	トン	3.7	3.6	-3.5%	71.17		再資源化	工務部長
		リサイクル率	%	99.0%	99.0%	—	100.0%		○　目標達成	工務部長
	公共工事受注		件数		3		3	100%	○　目標達成	工務部長
	環境配慮工法		件数	2.3	6		2	-66%	△　目標未達	工務部長
売上高実績(概算)			万円	5000万	—		10000		○　増収	
売上百万円当たりCO2量(Kg-CO2)				663	—		512		○	
環境管理責任者指示及び評価				現場では環境配慮工法に配慮すること。						
社長　指示又は評価				全社員がEA21活動に積極的に取組むこと。			EA21活動を評価する			

・重機業務増加で軽油が大幅増で+106%、電気も+11%増加した。
・ガソリンは-14%となった。
・二酸化炭素排出量は+67%となった。

⑧　環境経営計画の取組結果とその評価

取組内容	取組手段	取組結果	評価及び次期取組 （〇は良好）
電力使用量削減 （事務所）	（1） 冷暖房機の温度設定徹底と使用時間短縮 （2） 部屋使用時以外の消灯の徹底 （3） 夜間休日は事務機主電源OFFの徹底	夏季冷房時間短縮に努めた。	△節電継続
二酸化炭素排出量	（1） 電気・ガソリン・軽油使用量削減 （2） 省エネ重機をリース	重機等の稼働率が高かった。	△重機多忙で軽油が増加した。削減努力継続
燃料使用量削減 （ガソリン車）	（1） エコドライブの徹底 （2） 燃料使用量の把握	−14%であった。	〇エコドライブ徹底
水使用量の削減 （事務所）	（1） 水道管からの漏水に注意 （2） 節水	事務所作業多忙	〇節水努力継続。
廃棄物の削減 （事務所）	（1） OA用紙裏面の使用 （2） 一般ゴミの分別化	削減努力した。	〇分別廃棄努力継続。
燃料使用量削減 （重機等の軽油）	（1）エコドライブの徹底（過負荷防止） （2）アイドリングストップ （3）省エネ器機リース活用と フロンガス自主点検	建設重機の稼働率が高かった。	△燃料使用量の削減に努める。
産業廃棄物の削減 （建設現場）	（1） 建設混合廃棄物の廃棄処理業者出分別し再資源化 （リサイクルの推進）	ﾘｻｲｸﾙ率 100%になった。	〇 取組努力を継続する。
環境配慮工法の実施	（1）工事後の整理整頓徹底 （2） ICT 施工の推進	2件実施した。	△ガイドラインを使って取組教育実施する。
公共工事受注	（1）公共工事受注活動	3 件受注できた。	〇受注活動実施
教育訓練	環境マニュアル・環境目標・環境活動計画等に付いて幹部及び社員教育	社員安全教育の中で実施した。	〇 （EA21 教育を充実）
緊急時対応定期テスト	環境マニュアルに基づき実施	実施した	〇 防災訓練の充実
地域環境活動参加	地域環境活動参加	道路清掃活動などには参画出来なかった。	自然災害時の復旧事態に対応できるように準備しておく。

⑨　次年度の環境経営目標及び環境経営計画

１．次年度の環境経営目標は据え置く。
２．次年度の環境経営計画

取組内容	取組責任者	取組手段（**太字**は重点取組）	日程
電力使用量削減	環境管理責任者	（1）　冷暖房機の設定温度冷房28度の徹底と使用時間削減 （2）　部屋使用時以外の消灯及び事務機の主電源OFFの徹底	全期 全期
燃料使用量削減	環境管理責任者	（1）　エコドライブの徹底（エコ運転、アイドリングストップ、適正タイア圧、不要荷物対策等） （2）　使用量の把握し、削減教育の実施	全期 3ケ月毎
水使用量の削減	環境管理責任者	（1）　水道管からの漏水に注意 （2）　節水	全期 全期
一般廃棄物の削減	環境管理責任者	（1）　OA用紙裏面の使用 （2）　一般ゴミの分別化	全期
公共工事受注強化	環境管理責任者	（1）　**公共工事受注活動強化**	全期
燃料使用量削減	工務部長	（1）　**エコドライブの徹底**（エコ運転、アイドリングストップ、過負荷防止等） （2）　省エネ重機リース	全期
産業廃棄物のリサイクル	工務部長	（1）　**産業廃棄物の分別徹底**	発生時
環境配慮工法の実施	環境管理責任者	（1）　環境配慮工法・作業の検討と実施 （2）　購入資材の削減 （3）　**建設業者向けガイドライン（35P）参照し社員教育** （4）　**ICT施工の推進**	全期
建設重機のフロン対策	工務部長	（1）　フロンガス点検記録（2台）	3ヶ月毎

⑩　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

No	環境法規制等	法規制等の要求内容	今期該当有無	順守状況の確認（注）	遵守状況の評価
1	大気汚染防止法	建築物解体等の作業基準の順守、設備の届	なし	該当業務なし。	○(良好)
2	土壌汚染対策法	有害物質指定区域の形質変更の届	なし	該当業務なし。	○
3	騒音規制法	指定建設作業の届、規制基準の順守	なし	該当業務なし。	○
4	振動規制法	指定建設作業の届、規制基準の順守	なし	該当業務なし。	○
5	宅地造成等規制法	宅地造成の届、崩れ・土砂流出防止	なし	該当業務なし。	○
6	地すべり等防止法	地すべり及び山の崩壊防止基準遵守	なし	該当業務なし。	○
7	廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）	産業廃棄物保管場所の表示、マニフェストの管理	有り	産廃業者との契約締結、ﾏﾆﾌｪｽﾄの管理をしている。	○
			有り	報告書提出している。	
8	建設リサイクル法	特定の建設資材について分別解体及び再資源化の促進	有り	分別解体の推進と再資源化に努めている。	○
9	グリーン調達（グリーン購入法）	環境配慮物品の使用推進	有り	グリーン購入に努めてる。	○
10	道路交通法	道路交通法の順守（過積載の禁止等）	有り	道路交通法の遵守（過積載の禁止等）を徹底している。	○
11	浄化槽法	保守点検・水質検査の実施	有り	保守点検の実施。	○
12	特定特殊自動車排出ｶﾞｽ規制法	ｵﾌﾛｰﾄﾞ特殊自動車（18年以降の導入機）に対する排気ｶﾞｽ規制	有り	導入の設備は排気ガス規制に合格している。	○
13	消防法	危険物・可燃物の規制	有り	危険物・可燃物は貯蔵していない。	○
14	建設業法	建設業の許可、請負等の規制	有り	建築業の許可・請負契約・技術者の確保等遵守している。	○
15	港則法	特定港内工事の港長許可	なし	該当業務なし。	○
16	徳島市環境基本条例	環境保全と負荷の低減に努めること。	有り	環境保全と負荷の低減に努めている。	○
17	フロン排出抑制法	フロン排出の抑制	有り	バックホー2台につき簡易点検を実施する。	○
18	徳島県生活環境保全条例	特定建設作業に関する規制	有り	該当する場合は届け出	○

当社の事業活動に適用される環境関連法規等の定期評価の結果、違反はありませんでした。また関係当局からの違反の指摘及び訴訟は、過去3年間にわたってもありませんでした。

⑪　代表者による全体評価と見直し・指示

項　　目		レビューの結果
インプット	①　前回のEA-21審査結果	ｺﾒﾝﾄNO-1　推奨事項　EA21の取組をSDGsとの関連及び取組について検討した。
	②　環境目標達成状況	重機業務増加で軽油が目標大幅増で+106%、電気も+11%となり、ガソリンは-14%となった。結果的に二酸化炭素排出量は目標オーバーで+67%となった。
	③　環境活動計画の実施及び運用結果	従来は埋め立て処分していた混合廃棄物を全量廃棄先で分別再資源化できた。
	④　環境関連法規制等の遵守状況	遵守状況は良好であった。
	⑤　外部からの環境に関する苦情や要望等	なし
	⑥　是正処置及び予防処置の状況	
	⑦　前回までの環境経営レビュー指示事項の取組結果	受注量は確保できた。
アウトプット	①　環境方針変更の必要性	EA21の2017年版対応で見直ししている。
	②　環境目標変更の必要性	時期を見て見直す。
	③　環境活動計画変更の必要性	前年度計画及び評価を考慮して作成する。
	④　環境経営ｼｽﾃﾑ（環境経営マニュアル）及び実施体制変更の必要性	変更の必要性なし
	⑤　その他指示事項	1）公共工事受注努力。 2）軽油使用量の削減努力。 3）環境に配慮した工法の推進。

社長評価　・環境経営活動の徹底と営業活動を強化して、業績向上を目指す。

代表取締役 高田秋治

⑫　環境経営活動の記録写真

社会貢献　倒木の応急処理

２０２２年３月、風雨による倒木で市道が通行不可になり市役所から連絡があり、直ちに現地を確認し作業員を緊急招集し倒木処理を行ない、短時間で市民生活環境復旧に貢献した。

（写真は市道の倒木）

社内安全・教育訓練

社内の安全・教育訓練は、毎月実施している。

（写真は２０２２年７月）

以上